

# 高岡市民病院だより Heart

Hospitality  
Excellent  
Amenity  
Relationship  
Trust

No. 68  
OCT. 2024



## 「高岡市民病院七夕のつどい ハーモニカコンサート」を開催

8月7日に、市民病院アトリウムで、患者さんに心のいやしと季節を感じてもらうことを目的として、「高岡市民病院七夕のつどいハーモニカコンサート」を開催しました。

約6mと約3mの竹に、七夕飾りと患者さんに書いていただいた短冊を飾り付けた、市民病院のアトリウムで、ハーモニカアンサンブル「四番街のマリー」が、「夕焼け」や「上を向いて歩こう」などの童謡や歌謡曲を10曲あまり演奏しました。

患者さんは、演奏に合わせて手拍子をするなど、ハーモニカの優しい音色と懐かしいメロディーに癒されているようでした。また、有志の職員で浴衣を着て、患者さんの付添や短冊の取り付けをして、季節を感じてもらいました。



【題字について】

<b>Hospitality</b>	こころのこもった接遇
<b>Excellent</b>	良質な医療で健全経営
<b>Amenity</b>	快適な療養環境
<b>Relationship</b>	人材を育成しよりよい人間関係
<b>Trust</b>	地域との信頼関係の構築

### 患者の皆様の権利を尊重します

本院では“生命の尊重と人間愛”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が守られる権利
3. 説明にもとづき医療行為を選択する権利
4. 診療情報を得る権利
5. プライバシーが守られる権利

# 地域包括ケア病棟 開設のお知らせ

近年、高岡医療圏では高齢化率が上昇し、高齢の単独世帯や夫婦のみの世帯が増えています。高齢者の外来や救急搬送が増える中、在宅復帰に向けて入院が長期化する傾向があることをふまえ、幅広いニーズに対応するため、8月1日から地域包括ケア病棟を開設しました。

## 高岡市民病院の地域包括ケア病棟

当院の地域包括ケア病棟では、急性期の治療を終えた患者さんが自宅等へ退院する準備を行っています。患者さんが安心して退院できるよう、医師、看護師、リハビリスタッフ等の多職種で連携して患者さんのケアに取り組んでまいります。

急性期から回復期、訪問看護による在宅療養まで、地域の医療機関等と連携しながら、地域に必要な医療の提供に努めてまいります。

### 地域包括ケア病棟

6階東病棟36床(個室8室、4人床7室)

——対象となる患者さん——

- ・急性期の治療を終えて、在宅復帰するための準備や療養が必要な方
  - ・介護している方の病気やケガなどにより、一時的な入院が必要な在宅療養中の方
- 今後順次機能を拡大させていく予定です



6階東病棟



リハビリテーション科

# 当院は医療DXを進めています!



患者さんへ良質な医療を提供するため、当院では令和6年2月に電子カルテシステムの更新を完了した他、様々な取り組みを実施し、デジタル化を推進しています。

## ■ 取り組み① 通院支援アプリ「コンシェルジュ」を導入

### ■ スマホを利用して通院を便利に!

令和6年3月より、スマートフォン用通院支援アプリのサービスを開始しています。ご利用についての詳細は、当院ホームページ、または当院1階再来受付機横のアプリ専用窓口にてご確認ください。

### ■ 便利な機能を紹介

- ・診察待ち状況をアプリで確認できます
- ・クレジットカードでの後払い会計で当日の会計待ちが不要に
- ・いつでもアプリから次回の予約を確認できます など



## ■ 取り組み② マイナンバーカードの保険証利用

### ■ 受診の際はマイナンバーカードをご利用ください

令和6年4月より、マイナンバーカードで保険証(マイナ保険証)の資格確認を開始しています。当院は診療情報を取得・活用することで、質の高い医療の提供に努めています。正確な情報を取得・活用するため、マイナ保険証の利用にご協力をお願いします。



### ■ 通院外来の方は診察前に顔認証付きカードリーダーで受付をお願いします

〔設置場所〕

- 1階 再来受付機横、中央受付  
3番受付窓口、救急外来窓口
- 2階 7番受付窓口



## 内科（リウマチ科・腎臓内科）

しのだ こういちろう  
**篠田 晃一郎**

内科主任部長  
4月1日入職  
〔主な資格・学会〕  
・日本内科学会総合内科専門医  
・日本内科学会指導医  
・日本リウマチ学会指導医

## Q これまでの経歴について教えてください。

**A** 昨年度までは25年間富山大学附属病院のリウマチ・膠原病内科にて診療、教育、研究に携わってきました。医師30年目の節目に高岡市民病院に来ました。

## Q 専門分野について教えてください。

**A** 一般内科、及びリウマチ・膠原病です。現在、新たに腎臓や透析の勉強をはじめています。

## Q 高岡市民病院についてどのような印象を持ちましたか？

**A** 患者さんを選ばない、救急車を断らないという医療の原点を守り抜く素晴らしい病院です。診療においては看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、事務職員等のスタッフの能力が高く、本当にいつもお世話になっています。

## Q リウマチ科/腎臓内科の特徴について教えてください。

**A** リウマチをはじめとする膠原病は、免疫の異常を背景に引き起こされる疾患です。その多くが難病に分類されておりますが、近年様々な新薬が開発されており、当院においても保険収載されている全ての治療を行えるよう整えています。また、腎臓は大変重要な臓器であり、かつ慢性腎臓病は国民病の一つとも言われています。腎機能の低下で困った際には是非ご相談ください。

## Q 診療で心がけていることは何ですか？

**A** 患者さんの診療においては常に「全身を診る」事を心がけています。

## 緩和ケア内科

いそべ ひろたか  
**磯部 博隆**

緩和ケア内科主任部長  
4月1日入職  
〔主な資格・学会〕  
・日本緩和医療学会緩和医療認定医  
・日本内科学会認定医

## Q これまでの経歴について教えてください。

**A** 昨年度までは熊本県にある国立病院機構熊本医療センターの緩和ケアセンター長として、入院診療及び外来診療に携わってきました。

## Q 専門分野について教えてください。

**A** 緩和ケア医療、一般内科です。

## Q 緩和ケア内科の特徴について教えてください。

**A** 深刻な疾患があっても、患者さんの望む形で今後の時間を過ごしていただけるよう、きつい症状を和らげるための薬剤投与や看護ケアを行い、患者さんの持っている力を支える診療です。

## ○ 緩和ケア病棟について○

自宅のように親しい方とゆっくり過ごすことができるよう、全室個室となっている他、立山連峰を望む眺めのいいラウンジ、外の空気に触れられるテラスデッキ、ご家族が寝泊まりされる場合の炊事場と休憩室を完備しています。

## ○ 自宅での緩和ケア診療について○

通院するのは負担になってきたが、なるべく自宅で過ごしたいとお考えの患者さんについて、当院から自宅へ訪問して診療を行うための準備をしています。

## Q 診療で心がけていることは何ですか？

**A** 病状が進行し弱っていくことは辛いことかもしれませんが、最期を迎えようとしている時間の中では自然なことです。しかし、その時間を苦しんで過ごすのではなく、ゆっくりと人生を振り返ったり、親しい方と一緒に過ごしたりして、穏やかに過ごすことができるよう、患者さんの持っている力をできる限り生かせるサポートを心がけています。患者さんの複雑な気持ちを理解することは到底できませんが、その気持ちを尊重しながら診療しています。

## 第12回 医療連携懇話会を開催しました

【開催日】令和6年7月31日 【場所】ホテルニューオータニ高岡



(写真後列左から)寺山副院長、中谷担当局長、伊藤理事、柴田事務局長  
(写真前左から)野澤射水市医師会長、白崎高岡市医師会長、日本医師会 佐原常任理事、福島院長、松井氷見市医師会長

**講** 師に日本医師会常任理事 医療法人社団和泉会さほらファミリークリニック 佐原博之院長をお迎えし、地域の先生方に多数のご出席をいただきました。懇親会も開催し、地域医療機関の皆様との交流を深めることができました。本院は地域医療支援病院として、高岡医療圏における地域包括ケアシステムの一翼を担うため、地域の医療機関の皆さまとの紹介、逆紹介の推進に取り組んでまいります。



## 新規開業されたクリニックの紹介

### さくはなファミリークリニック

〒939-0319

富山県射水市東太閤山3丁目87

TEL.0766-54-5833



たご  
**田子 さやか**  
院長



**院** 長の田子さやか先生は、ご縁のあった木田先生(旧木田小児科医院)の跡地を引き継ぎ、令和6年5月に「さくはなファミリークリニック」を開院した。

「小児科が閉院になると行く所が遠くなり、お子さんやご家族が困ってしまうと聞き、ちょうど地元で開院を考えていたこと、そして必要な場所で医療を提供したいとの思いが合致しました。」小児科だけでなく、総合内科、感染症科の専門医として、また離島診療で地域医療に従事した経験からファミリークリニックを開院することになった。診療科目を中心に、皮膚や足腰の不調、婦人科系の悩みなどの相談も受け、それぞれの症状や困りごとに寄り添い、より専門性が必要な場合には専門

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○
14:00~17:30	○	—	○	○	○	—

休診日：日曜・祝日・火曜午後・土曜午後  
受付：8:00~12:00、14:00~17:00

医とのしっかりと連携を取っている。患者さんの、「どう治療を受けたいか」という希望を大切にし、一般的な薬がよいか、漢方薬がよいか、使用頻度はどうするかなどを丁寧に問診し、体だけでなく心の状態も良くなるよう、治療だけではなく環境の改善も取り入れている。それは、クリニック内にも配慮されており、建物自体が空間で人を癒すというテーマで作られている。壁や空間、照明、水分補給のためのハーブウォーター、秋からは薪ストーブのぬくもりで身体を癒してくれる。「あらゆる年代、あらゆる体を診るというコンセプトでやっています。ちょっとした困りごとでも来ていただければ、なんとか力になりたいと思っています。」

# ひだまりクリニック

つぎわ かおる  
津澤 薫  
院長

〒933-0826  
富山県高岡市佐野845-1  
TEL.0766-30-3309

「共」にあゆむ、を胸に」と語るのは、高岡市民病院での勤務を経て、令和6年6月3日に高岡市佐野で「ひだまりクリニック」を開院した津澤薫院長。クリニックのある「ひだまりテラス」にはリハビリデイサービス、認知症グループホームや訪問看護ステーションなどが入っており、医療・介護・福祉の切れ目のないサービスが提供されている。「地域の方々に気軽に足を運んでいただける場所になれば」と。大学卒業後、精神科に入局も、「不定愁訴って本当にそうなの？」と心身相関への疑問と関心を抱き、代謝内分泌領域を中心として



内科での研鑽も積んだ異色の経歴の持ち主。「ただ薬を出してさようならという精神科・心療内科ではな



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	—	—	—	—
14:30~17:00	○	○	—	—	○	—	—

受付時間 8:45~12:15 / 14:15~16:30  
休診日 水曜午後、木曜、金曜午前、土日祝日

く、ひとりひとりの個性や置かれた環境に配慮して、困り事や生きにくさに寄り添ったオーダーメイドな温かみのある診療を提供したい」と、うつ病の認知行動療法などの非薬物療法にも積極的。とくに気分障害、不安障害、適応障害などのストレス関連障害、睡眠障害、認知症、統合失調症維持期などの疾患の治療が受けられる。入院が必要な場合は高岡市民病院や近隣の医療機関との連携が図られる。

「開院から間もないので認知度は低いですが、精神科専門医・認知症診療医・内科認定医などの知識と経験を活かして、地域に貢献できますことを願っています」

# 尾島クリニック 〒934-0015 富山県射水市桜町16-18 TEL.0766-84-8552



おじま としやす  
尾島 敏康  
院長

昭和54年に現在の地(当時  
昭は新湊市)で開業された父の背中を見て外科医となり、その志と思いを継いで令和6年6月に生まれ育った射水市で「尾島クリニック」を開業された尾島 敏康院長。消化器疾患の専門医として、

数多くの消化器外科手術を研磨され、特にロボット手術の導入に日本でも有数の早さで取り組み、日本を代表するロボット手術の外科医として全国でその施術を指導してきた。「その経験と今までやってきたことを、地域の皆さんに、そして富山県、北陸の地に還元できるのではと思います、地域のかかりつけ医として一人ひとりの患者さんのニーズにできるだけ早く、一番近道でゴールに向かえるように診療していくこと、合わせて可能な限りできるだけ高い水準の医療を提供していきたい。」と、地域で完結できる医療体制を築くと共に、病院とクリニックの連携体制の充実と情報共有を図っている。特に医療機器では最高水準の内視鏡システムをはじめ、CTを導入し、「大腸内視鏡検査」をその日のうちに受けることができ、検査時にポ



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	×
院長診察					手術日		
13:30~15:30	○	○	○	○		△	×
大腸内視鏡 往診						×	×
15:30~18:30	○	○	○	○			
院長診察							
14:00~16:00	×	×	×	○		×	×

○診察 ×休診 △予約に合わせて行います。  
金曜・土曜午後、日曜・祝日は休診  
当院ではオンライン資格確認を導入しております。  
マイナ保険証をご利用いただけます。

リーブがあればその切除も可能になる。もう一つの特徴としては、「切らない痔の手術」ができます。昔は全部メスで切って手術をしていましたが、今は痛くない、切らない手術が可能で早ければ10分位で終わります。」その手術はジオン注射 (ALTA) という治療法で、院長はその資格を有し、患者さんの身体への負担を軽減できる。「地域の方はもちろん、県内外からも訪れる患者さんのニーズに一直線で最短で治療できることを大切にしていきたいと思っています。どんな症状でも、どうぞ気軽に来てもらえれば対応させていただきます。」